



## 卸売業新春トップインタビュー

### 三井物産流通グループ

**柴田幸介社長**

## 統合5社の強みを融合しシナジー發揮

### 〈2025年の総括〉

2025年を振り返ると、原材料や物流コストの高騰に加え、物価上昇に伴う生活者の節約志向と価値観の二極化、急速なデジタル化の進展が企業活動の前提を大きく変えた一年であった。少子高齢化と人口減少により市場縮小と労働力不足が一層深刻化するなか、業態を超えた競争は激しさを増し、業界全体で統合や協業の動きが加速した。

こうした環境下において、当社の業績は計画を上回る進捗を示し、値上げ効果による総利益の改善も寄与し、堅調な着地が見込まれる。事業用食材部門では、業務用食材部門と

### パッケージ部門を集約した「フード&パッケージングユニット」、特定コンビニエンス向けリテールユニットと三井食品ユニットを統合した「コンシューマープロダクトユニット」を発足させ、物流・オペレーション・事業推進と合わせた5ユニット体制を構築した。

これにより組織シナジーを創出する基盤を整備することで、労働生産性向上を重点テーマに据え、社員向けAI研修を基礎から専門レベルまで展開し、ワーカーデザインプロジェクトを通じた業務改革に取り組んだ。

### 〈中期・長期事業方針〉

統合初年度には「明日(みらい)の流通をつく

### 〈中期・長期事業方針〉

統合初年度には「明日(みらい)の流通をつく

### 〈中期・長期事業方針〉

統合初年度には「明日(みらい)の流通をつく

### 〈中期・長期事業方針〉

### 〈中期・